

6月 は「環境月間」

問合せ：環境衛生課 ☎958-1111 内線 2830

*環境にやさしい暮らしを

私たちの暮らしは昔に比べて便利で快適なものになりましたが、それは同時に環境に大きな負荷を与えています。エネルギー（電気・ガス・水など）の消費によって発生する二酸化炭素は、異常気象や海面上昇、食料危機などを引き起こす地球温暖化の主な原因とされています。さらに必要以上に生産された商品は大量の廃棄物を生み出し、開発行為による自然破壊は生態系に大きな影響を与えています。

「自家用車ではなくできるだけ交通機関を利用する」、「照明器具はこまめに消灯する」、「冷房の設定は高めの28度に設定する」、「残り水を利用した朝夕の打ち水」など環境に配慮した生活を心がけましょう。

また、6月5日は環境の日です。1972年6月5日ストックホルムで開催された国連人間環境会議を記念して「世界環境デー」と定められました。また、日本では「環境基本法」(平成5年)により「環境の日」と定められています。

環境騒音の状況…

市内の公園など幹線道路に面しない一般地域 23 地点で環境騒音調査、市内を通過する幹線道路沿道6地点で、24時間自動車騒音の監視を実施しました。一般地域では主たる音源は昼夜共に自動車音で基準を超過した地点があり、道路沿道においては、交通量の増加により、基準の達成状況もほぼ横ばい状態で、一層の環境改善が課題となっています。

※数値は昼間、() 内は夜間。

※環境基準の達成状況は、昼夜間共達成していた地点割合。

※A 類型は第 1、2 種低層住居専用地域・第 1、2 種中高層住居専用地域、B 類型は第 1、2 種住居専用地域・準住居地域、

C 類型は近隣商業施設・商業施設・準工業地域である。

■一般地域の環境騒音の状況

	市内平均	A 類型の地域	B 類型の地域	C 類型の地域
騒音レベル (L Aeq)	51 (49) dB	48 (44) dB	50 (46) dB	56 (55) dB
環境基準値 (L Aeq)		55 (45) dB	55 (45) dB	60 (50) dB
環境基準の達成状況		92%	92%	75%

■幹線道路の面する地域の環境騒音の状況

	市内平均	2 車線以下の道路	2 車線を超える道路
騒音レベル (L Aeq)	70 (65) dB	71 (67) dB	70 (64) dB
環境基準値 (L Aeq)		65 (60) dB	65 (60) dB

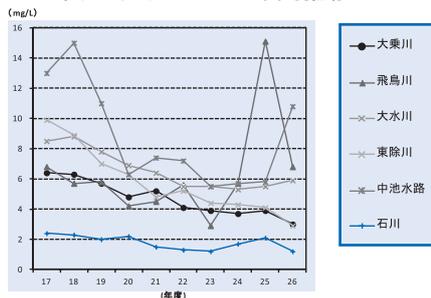
河川水質の状況…

市内を流れる河川で、水質の監視を実施しました。

河川水質を代表する指標である BOD (生物化学的酸素要求量) は、石川、東除川、大乘川で環境基準値を達成していますが、その他の河川については、多少改善されてきているものの基準値達成には至っていません。引き続き、生活排水対策、下水道整備などの取り組みを進めることが重要です。

※石川は B 類型で 3mg/L、東除川、飛鳥川は C 類型で 5mg/L、大乘川、大水川、中池水路は類型指定がなく、ここでは C 類型としている。

市内河川のBODの年間推移

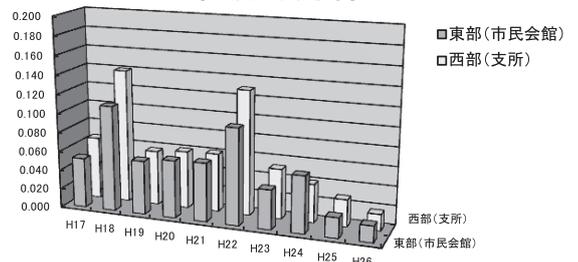


一般大気(ダイオキシン)の状況…

市域のダイオキシン類による汚染状況を把握するため、一般環境大気について、夏季と冬季に市内2カ所 (市民会館・支所) で調査を実施しました。

市民会館は 0.017pg-TEQ / m³、支所は 0.017pg-TEQ / m³ で、両地点とも環境基準値 0.6pg-TEQ / m³を下回っていました。また、経年変化には変動があるものの年々減少の傾向がみられ、平成 15 年以降はほぼ横ばいの状態となっております。

DXN (一般大気汚染)



6月1日～7日は水道週間です

「カラカラで 蛇口に飛び込む 僕の口」です。

6月1日から7日までは「第57回水道週間」です。水道週間は水道について国民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るとともに、水道事業の更なる発展に役立てることを目的として毎年実施されています。

今年の水道週間のスローガンは「カラカラで 蛇口に飛び込む 僕の口」です。

この機会を通して市民の皆様一人ひとりに水質の保全や水の大切さを理解していただくとともに、将来に向かって、大切な資源である「いのちの水」について関心を更に深めていただくものです。

水道局では市民の皆様安全でおいしい水の供給確保に努めてまいります。

水道局 ☎958-1111 内線 5013



第57回水道週間ポスター